

# 市議会だより

# GOJO

No.51

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成 26 年（2014 年）6 月 1 日



（初夏の藤岡家住宅庭園 川村 優理 さん）

## 五條市議会第1回3月定例会の概要

平成26年第1回3月定例会は、3月3日に開会して会期を24日までの22日間と決定し、初日には、市長から新年度における施政方針と本定例会に提出の議案説明を受けるとともに、代表監査委員から平成25年度の定期監査結果報告がありました。

本定例会には、平成26年度各会計予算案を始め、五條市地域の元氣臨時交付基金条例の制定、五條市小規模改良住宅条例の制定、五條市税条例の一部改正、平成25年度一般会計などの補正予算等の重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、公益的法人等への五條市職員の派遣等に関する条例の制定を求める決議を始めとして議長不信任決議、議員辞職勧告決議などとともに意見書を提案して慎重な審議が行われ、6日と7日には10人の議員が一般質問を行い、3月24日に閉会しました。

## 目次

一般質問	2～6ページ
表決結果と議決結果	7～8ページ
決議・意見書	9ページ
活動報告ほか	10ページ

# 一般質問

## 山口耕司 議員

### ふるさと納税について

**山口** ふるさと納税とは、自分のふるさと自治体や応援したい都道府県及び市区町村に対して寄附をすると、寄附金額のうち2千円を超える分について、所得税が寄附した年から、住民税は翌年度から控除される制度で、寄附者の所得や寄附額に応じて控除額は変動していきます。

例えば、夫婦と高校生の子供一人で収入が700万円の家庭をモデルケースとした場合、4万円を寄附すると3万8千円分が控除されることになり、寄附者の負担は2千円で済むが、控除を受けるには、確定申告が必要となる。その際、寄附先の自治体から送付される領収書が必要となる。毎年1月1日から12月31日までに行った寄附は、翌年に確定申告を行う。

この納税の大きな魅力の一つが、寄附者に対する特典で、多くの自治体が一定金額以上を寄附した寄附者に対し、特産品などを贈呈している。寄附者は地域活性化や産業、教育振興など事業の中から、

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめていきます。

寄附金の使い道を指定することもできます。

本市の現状や使途について担当部長に尋ねます。

**市長公室長** ふるさと五條市応援寄附金として、平成20年8月にスタートし、現在までの5年半で35件、約730万円寄附いただいている。

手続きの流れは、寄附いただく皆様から寄附申出書を提出いただき、納付書・口座振込若しくは現金書留で寄附金を納付後、市から寄附金領収証明書とともに、特典として五條四季彩写真集及び五條四季彩ポストカードを送付している。

**山口** 市のホームページ上や、特典など他市と比べると大変立ち遅れているのではないのでしょうか。

**市長** 五條市独自の考え方やアイデアを持ちながら、御理解が得られるように、また、可能な限り早くクレジットカード、コンビニ決済等、納付できる体制を検討させていただきたく。

**山口** 五條市の活性化につながるふるさと納税の仕組みを早急に作っていただきたい。

## 養田全康 議員

### 五條上野公園について

**養田** 五條総合体育館ができるなど上野公園を総合公園としての位置付けでお考えか。また、増水被害の被害回避をどうするか尋ねる。

**都市整備部長** 上野公園は五條市緑の基本計画において整備を進める総合公園と位置付けている。

また、大津町では蓄積土砂の撤去。野原西、二見においては築堤工事が実施されており継続して上野地区でも堤防工事を要望したい。

**養田** 脱衣場もなく利用者がトイレで着替えていると聞くので、その点も改善を願う。

### 障害者への支援について

**養田** 障害者支援が活発な和歌山県田辺市を視察し、まず驚いたのが市民総合センター内のコンビニで障害者が生き生きと働いている。五條市ではどのような支援、また働ける場所は何箇所あるのか。

**あんしん福祉部長** 社会福祉課やNPO法人生活相談センターのどこかで相談を受けている。就労支援事業所は3箇所である。

**養田** 田辺市では、約64箇所の作業場がある。五條市でも各機関と連携を密にし、大きな支援の輪に

広げていただきたい。

### 山間部の救急体制について

**養田** 2月14日の大雪の日に大塔支所の職員が雪かきを頑張っていると聞き訪ねたが、五條市は約7割が山間部で狭い道が多く軽四救急車やドクターヘリの導入に向けての検討と今後の方向性を尋ねる。

**消防長** 軽四救急車は有効性は高いと考える。課題を克服し前向きに検討したい。また、奈良県もドクターヘリ検討委員会で協議を行っている。

**養田** 受傷してから、10分間をブラチナタイム、60分間はゴールデンアワーと呼ぶなど救急搬送時間が短いほど、生存率が上がり後遺障害も少ない。是非、山間部が多い五條市にドクターヘリを設置するよう強く要望をする。

### 魅力ある学校づくりについて

**養田** 本市の子供の体力は県平均を上回っているが学力はどうか。

**教育部長** 学校によっては、内容により県平均を上回るものもあるが、市全体では下回っており、その実態を厳しく捉えている。

**養田** 特色ある学校づくりを民間といるいろいろコラボレーションして勉強にスポーツに先進した市にしていただきたい。

## 平岡清司 議員

### 観光施策について

**平岡** 現在も開通を目指して工事が行われている京奈和自動車道が、28年、29年頃に開通を予定しているが、開通後、京都、奈良、和歌山が近くなり大変便利になる反面、五條市もただの通過点の町になるという不安もあるが、大きな一つのチャンスになる可能性もあると思う。現在この五條市をどのように紹介されているか尋ねる。

### 産業環境部長

パンフレットの配布、ホームページを利用した観光情報、マスコミキャラクターゴーストを活用した観光PR、市民参加の恋するフォーチュンクッキーをインターネット動画サイトで公開するなどである。

**平岡** 開通後、本市をどのようにアピールしていくのか尋ねる。

### 産業環境部長

紀伊半島の大自然、吉野、大峰、高野山、熊野といった霊場につなげていく観光資源の掘り起こし、観光力の底上げを図りたい。

**平岡** 企業誘致をどう考えるか。

### 産業環境部長

五條市企業立地促進及び雇用の拡大に関する条例を

運用しており、既に2社に奨励金を交付し、新たに3社に対し指定の認定を行っている。

### (仮称) 野原運動公園について

**平岡** 野原運動公園の購入経緯について尋ねる。

### 教育部長

野原地区連合会及び野原体育協会の要望で、建設計画を立て平成14、15年の2箇年で9、923万6、130円で購入した。

**平岡** 約1億円で購入し10年以上もたっているのにまだに完成もせず、残土を積み上げ見苦しい状態になっている。現在の進捗状況について尋ねる。

### 教育部長

現在の搬入土砂の状況は、奈良県五條土木事務所が管理しており、計画高まではまだ達していない状況である。

**平岡** 土木と協議して早急にできるようにお願いしたい。完成後の有効利用についてどう考えるか。

**市長** 地域の皆さんと検討しながら、健康づくりとかいろんなイベントに有効利用できるような形になればいいと思っ

ている。

**平岡** 地域の協力を得て一日も早い完成をお願いする。



## 窪佳秀 議員

### 災害時避難行動要支援者対策について

**窪** 災害発生時に地域の中で高齢者・障害者等で自力で避難が困難な人に対する取組について尋ねる。

### 危機管理監

市自治連合会・社会福祉協議会・市民生児童委員連合会・警察・消防団等避難行動要支援者を支援する上で重要な関係機関団体からなる五條市避難行動要支援者検討委員会を設置しており、その中で情報の共有及び支援体制の構築に向けて協議を行っている。

### あんしん福祉部長

災害時要援護者台帳の作成は、福祉部局が担当し現在730人の要支援者を把握している。今後各担当者・民生児童委員等関係機関と協議し精査を行い台帳を完全なものとしていく。

### 窪

支援対策の中で大切なことは個別対策、本人の同意、避難所の選定、昼夜別の支援者登録が重要になってくる対策を尋ねる。

### 危機管理監

一般の避難所とは別に福祉避難所が必要であり、福祉施設と災害発生時の受入れに関して調整し、協定等の締結も検討し、

万全を期したい。

**市長** 東日本大震災において多くの避難行動支援者の命が失われたことから本市の避難行動要支援者のみならず、当市を訪れる全ての方々に対し災害発生時には一人でも多くの生命、身体を守る使命を達成するため全力で傾注していく。

### 市職員の名札について

**窪** 市民との信頼関係を築く上で名前を覚えてもらえるよう名札の大きさ、ふりがな等必要と考える。

**市長公室長** 現在は、職員の名名のほかに、課名、役職名を表示している。今後名札の着用を徹底し、ふりがなも含め他市も参考にし、変更可能な限り改善していく。

### 成人式の式典改革について

**窪** 成人式の運営・式典の企画、開催日について問う。

### 教育部長

県内では、新成人代表者が実行委員会や運営委員会を設置している。開催日も新成人対象者にアンケート調査も含めて検討する。

### 教育長

祝福・激励・自覚の促進が大切で、魅力ある成人式の検討を進める。



## 吉田 正 議員

### 児童保育について

**吉田** 各施設の収容定数及び現在の応募状況について質問する。現在の経済情勢などから児童がいる各家庭においては経済的な負担とともに、共稼ぎ家庭が増加し児童を児童保育に入所希望するケースが増えてきている。その結果、新規の入所希望受付の際、希望が集中し希望の児童保育所に入所できないケースも発生していると聞いているが、現在の応募人員、各施設の収容数及び現状また今後の対応はどうか。

**あんしん福祉部長** 定員は公営が定数90名、また民営が70名の計160人となっている。登録児童数は現時点で219人であるが、登録のみだけで実際の利用ベースでは何とか運営できる状態である。今後は子ども・子育て支援制度のニーズ調査に基づき充実を図りたいと考えている。

**吉田** 五條市においても若い世代の方々に定住していただくためにも施設を充実し子供を安心して産み育てるまちづくりのためにも環境整備をお願いする。

### 五條市の教育について

**吉田** 他市町村では、小・中学校の一貫教育また小学5年生からの専門教科の先生による授業など、独自の教育制度を設けているところがある。本市も魅力あるまちづくりの根幹である、人づくり教育、また学力の向上を目指し本市の教育改革にいかなる構想、展望を持っておられるか尋ねる。

**教育部長** 五條市においても五條市教育振興基本計画を策定いたしました。また、今後は五條市学校適正化委員会条例(案)に基づき次世代の教育システムの構築を目指したい。

**吉田** 教育長に尋ねるが五條高校校長在職時に進路別の教育制度・スクールバスの導入等教育改革を行っていたことは周知のことであるが、まちづくりは人づくりの言葉の中、今後の五條市の取り組むべき教育改革教育制度についていかがお考えか尋ねる。

**教育長** 9年間を見通した教育課程の構築、児童・生徒に見合った規模や配置、学校・家庭・地域の結集をはかり教育の充実に努める。



## 牧野雅一 議員

### 大塔地域の復興について

**牧野** 大塔地域の復旧の進捗状況について尋ねる。

**大塔支所長** 赤谷キャンプ場の復興計画を作成、天辻地区に4戸、宇井地区に2戸の改良住宅が6月末完成予定で、宇井地区左岸側に防災コミュニティ施設、市道宇井線を建設、その他としては、市道川西線の復旧、鎮魂広場、トイレ棟、軽スポーツ広場等の整備を進めていく予定である。

**牧野** 行政一体となって、同じ五條市ですので、皆が力を合わせて復興に向けて進めていただけたらありがたい。

### 「意識改革宣言」について

**牧野** 魅力あるまちづくりを目指すためには、新庁舎建設特別、地域活性化及び五條駅南北道建設促進特別各委員会は、まちの将来的に大変大切な委員会である。共に考え、達成の喜びを共有するため、委員会で話し合われる情報を共有することが必要である。

**市長** 情報の共有の周知についても大変重要であると認識している。共に議論しながら行政又は議会と

情報交換もして市政運営をしていきたい。

### 新庁舎整備研究委員会からの答申について

**牧野** 新庁舎整備研究委員会の検討結果を取りまとめた報告書が、たった3回の検討結果で答申される予定と施政方針にあったが、即座に判断しなくても、もっといろんな市民の人の声を聞いた上で、御判断いただけたらと思う。

**市長公室長** 大体31年、32年で本體工事ができ、特別委員会や本議会の中で、その適地がそこであるか御判断をいただけたら。

**牧野** 新庁舎の建設は五條市の30年先、50年先を見据えた大事業で、将来に大きな影響を及ぼすものである。建設も大事だが建てた後の方がその何十倍も大事であるので幅広く市民の声を聞くべきである。**市長** 多くの皆さんの御意見を伺うが、ただ多くの皆さんということは、今諮問機関である委員会の方に諮問している。

**牧野** 一人でも多くの市民の皆さんの意見を聞き入れてもらいたい。合併特例債の期限が32年度であるが繰越事業は該当しないのか。

**総務部長** 繰越は、最高一年までいける。

## 吉田雅範 議員

### 地籍調査について

**吉田** 五條市における地籍調査全般の進捗状況と固定資産税の課税方法についてお尋ねする。

**都市整備部長** 平成25年3月末で対象面積273.46km<sup>2</sup>に対し、調査済み面積9.6km<sup>2</sup>、進捗率は3.51%となっており、平成26年度の3月末で4.19%の見込みである。固定資産税の課税方法は、地籍調査事業が完了し登記された後、法務局から土地情報による見直しがされ、境界確認の現地立会において、所有者が現地を管理しておらず現地において土地が存在しない場合など、最終的に土地所有者間で協議し決定していた。具体的な取扱いには税務課に対応を依頼している。

**吉田** 地籍調査が遅れていることから人員増などの対応はどうか。  
**市長** 鋭意努力をしており、今のできる限りの範囲内で進めているというのが現状である。

### 災害時の支援について

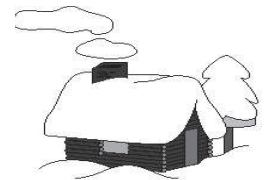
**吉田** 雪害対策は、まずは自助・共助であるが、2月の大雪では中山間地域で家に閉じこめられた状

態が数日続いた。

高齢者や身体の不自由な方がおられる地域での公助について尋ねる。

### 都市整備部長

パ  
トロールにより国道・市道等の状況把握に努め、地元自治会や職員等で除雪作業と支障木・竹の処理を実施した。支所との連携を密にし、地区自治会等からの要望で市道に関わらず救援に行く態勢をとっている。



### 市庁舎敷地内の安全対策について

**吉田** 庁舎玄関前駐車場でクレーンを伸ばした状態の車両が放置しており大変危険な状態であった。

**総務部長** 所管課の対応としては、物件を撤去させる必要があると判断し、口頭で撤去を求め管理規則に基づき文書で通知をした。

**吉田** 市の最高責任者として即座に撤去命令は出せないのか。

**市長** 基本的に規則等により対応して、また警察、市の顧問弁護士とも相談をしながら適切な処置をした。市民に迷惑の掛からないよう安全性を確保してまいりたい。

## 宗部康寛 議員

### JR五条駅の北改札口の設置について

**宗部** 現在、改札口は南側に1箇所、岡口・今井、田園地区の方からかなりの人が利用している。改札に行くには陸橋を通らなければならず、高齢者や障害をお持ちの方は3分から5分掛かると聞いている。バリアフリーにもなっており、車椅子の方は利用できない。この現状を踏まえ、北改札口を改修すれば利便性も良くなり、利用者も増えると考えらるが。

**都市整備部長** 現在、合築駅舎及び自由通路を設置することで協議中で、駅改札へのICカード対応機の設置も要望しており、一人でも多くの方に利用していただくため、JR側に働きかけてまいる。



### 都市計画区域の規制緩和について

**宗部** 生産緑地について、期限があるのであれば教えてほしい。

**都市整備部長** 30年以上継続する意思の申出があった農地について指定をしている。

**宗部** 規制緩和ができることにより産業の発展、そしてまた新産業の飛躍的な拡大が期待できるものと思っており、特例措置とかいうことは一部できないものか。

**都市整備部長** 公共用施設用地となる場合や、都市計画の告示の日から30年を経過したとき、若しくは従事不可能な故障を要するに至ったときに、市に対して時価による買取りの申出ができる。市街化調整区域は、5年ごとに基礎調査を行い、定期的に見直しを経て、現在に至っている。京奈和自動車道の各インターからおおむね1km以内においては規制の緩和が図られており、道の駅も該当する。

**宗部** 五條市という位置付け、橋本市と隣接している南和地域の玄関口五條市に、経済波及効果の可能性があるとすれば、規制緩和をしなければならぬと考える。五條市も少しでもこの規制を緩和することができれば、またその経済波及効果が少しでもあやかることができるかもしれない。今後、企業を誘致するときも、五條市が魅力ある自然と文化に恵まれたまちづくりをすることが人々を招致することに繋がると考える。